

山本…千喜良さんは、新米を使ったメニューを広げようとか、栄養士としてもっと若い人にもご飯を食べしてほしいなど、いろいろなことを考えていると思います。

千喜良…そうですね。市長はお米の袋を名刺にしているという話がありました。私も名刺交換をするとき出身地の話になり、「お米のおいしいところですね」と言われることがあります。南魚沼のお米をもっと広めていきたいと思っています。新米はそのまま食べるのが一番おいしいです。誰もが食べやすいおにぎりという形でご飯を食べる機会を増やしていくのがいいかなと思います。

山本…お米が全国的に有名な所で生まれて育っているというのは、どう思いますか？

長谷川…すごく誇りに思います。

市長と話した感想は？

大平…始めは緊張してたんですが、とても話しやすく楽しかったです。

星野…市長は市長室にいて事務作業ばかりなのかなと思っていましたが、いろんな場所に行つて自分の足で確かめるというところがみんなから信頼されるんだなと思いました。

長谷川…普段聞けないようなことも聞けたし、市についてたくさん知ることができたので、本当に楽しかったです。

江口…市長のイメージは星野さんと同じでした。話を聞いて実際にそこに行き、行った人にしかわからない空気感をしっかりと感じて、今こういうことをしたらいいのかなというのを考える姿勢はいいなと思いました。

中学生の意見を聞いた感想は？

千喜良…みなさんとてもしっかりした考えを持っているんだなと感じました。私が栄養士になろうと決めたのが中学生のときで、ちょうどみなさんと同じくらいの年だったので、夢に向かってがんばってほしいと思います。

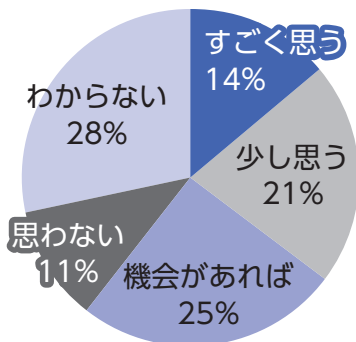
市長…みんな本当は悩みもいっぱいあるだろうけど、いろいろと考えているなど。将来、市外に出てもいいし、市外でがんばつてから帰つてきてもらつてもいいのですが、ふるさとを忘れずにいてほしいと思います。

中学3年生を対象としたアンケート調査結果

市内4中学校の中学3年生473人を対象にアンケート調査を行いました。結果の一部を紹介します。

Q. 将来、南魚沼市で暮らしていこう、いずれ戻ってこようと思いますか？ (407人が回答)

Q. 将来、どんな南魚沼市に暮らしたいと思いますか？ (自由記述 374人が回答)



回答の一部

自然豊かな市
今よりも発展した南魚沼市
住みやすい南魚沼市
活気のある南魚沼
今のままの南魚沼市
平和なまち

半数以上が、「南魚沼市で暮らしていこう、いずれ戻ってこようと思う」と回答しました。

「自然豊かな」という内容の回答が約15%、「発展した」、「住みやすい」、「活気のある」という内容の回答が約14%を占めました。

「中学生と市長の車座会議 私と南魚沼の未来トーク」は、平成30年10月13日(土)にFMゆきぐにのホールで公開して開催し、その様子を収録して平成30年11月11日(日)にラジオ放送しました。ラジオ番組は、FMゆきぐにのウェブサイトのアーカイブから聞くことができます。ぜひお聞きください。

